

vol.

115

2024

3/22 発行



いちのへ社協だより

ゆいっこ



CONTENTS

| | | | |
|---------------------|-----|-----------|---|
| 令和5年度各種会費及び募金納入実績 | 2～3 | 社協からのお知らせ | 7 |
| できごとフラッシュ | 4～5 | Topics | 8 |
| 福島県・秋田県災害ボランティアレポート | 6 | | |

題号"ゆいっこ"は、古くは若者たちによる共同農作業という素朴な集団の呼称として使われていましたが、この互助精神が福祉の精神そのものと思い、社会福祉協議会広報の題名にしました。



日本赤十字社
活動資金増強運動

令和5年度も例年と同様5月を全国一斉日本赤十字社活動資金増強運動月間とし、活動資金の募集活動が展開されました。
この活動資金は、全額が日本赤十字社本
社へ送金され、各種活動(災害救護活動・ポ
ランテニア支援・赤十字講習会・国際救援
活動等)に充当されています。一戸町分区分
においても、小中学生が行う青少年赤十字活
動への助成や献血活動の実施、災害時救援
物資の備蓄等に役立てられています。



献血バスによる血液事業

総額 2,396,495円 (前年度比 △5,205円)



一般世帯からの500円以上
2,000円未満の会費

町内企業からの
2,000円以上の会費

500円未満の
寄付金



一戸町社会福祉協議会
会費納入実績

本会の会費募集は、例年8月頃に実施し
ております。今年度も町内外より、地域住
民、法人、老人クラブなどの団体の皆さまの
ご協力を頂くことができました。
皆さまから納入いただいた会費は、本会
の地域福祉事業(ふれあい・いきいきサロン
事業助成、通院時外出支援サービス事業、長
寿祝品贈呈事業、福祉教育の推進に関する
事業等)の財源として活用させていただきます。



福祉教育の推進に関する事業

総額 3,478,800円 (前年度比 △38,400円)



一般世帯からの
800円以上の会費

老人クラブ、民生委員児童委員
協議会等の団体からの会費

特別会員になっている世帯、
法人からの一口2,000円の会費

町外の団体、
個人からの会費



赤い羽根
共同募金運動

赤い羽根共同募金運動は、「自分の町を良
くするしくみ」をスローガンに、毎年10月に
全国一斉にスタートする募金運動です。誰
もが安心して暮らせる地域を作るため、乳
幼児と子育て世代をサポートするため、乳
ドシート貸出事業や、地域住民同士の支え
合いのためのボランティア活動保険助成事
業などに活用されます。



校内募金活動に取り組む奥中山小学校のみなさん

総額 3,063,328円 (前年度比 +116,610円)



一般世帯からの
募金

例年2,000円以上の
納入実績のある企業、
小売店からの募金

例年2,000円以上の
納入実績のある
個人からの募金

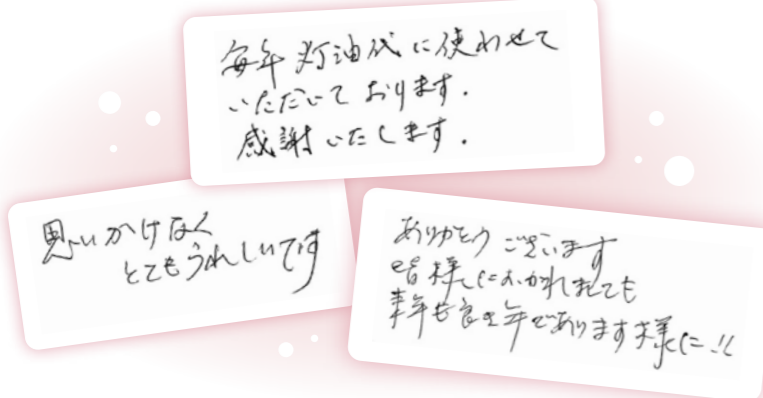
町内小中学校の
児童生徒による
校内募金活動

町内の企業等
による職場内
募金活動



歳末たすけあい
募金運動

歳末たすけあい募金運動は、支援を必要
とする方々が安心して新しい年を迎えら
れるよう、毎年12月に行われる募金運動です。
地域の皆さまから寄せられた義援金のほ
とんどが、新年をあたたかい気持ちで迎
えるための費用として対象世帯へ配分されま
した。また義援金の一部は、次年度の地域福
祉活動資金に役立てられます。



歳末たすけあい義援金を
受け取った方から寄せられたメッセージ

総額 3,038,347円 (前年度比 △37,582円)



※義援金の使い道を示しています。

障がい児・者世帯
50,000円

小鳥谷ふじの花こども園保育参観 親子でふれあうスポレク学級

小鳥谷ふじの花こども園(園長：櫻井美紀子)は、2月6日、2歳児クラス1組、3歳児クラス5組、4歳児クラス4組、5歳児クラス2組の計12名による保育参観を行いました。

今年の保育参観はいちのへサンビレッジクラブ、西館敦コーチによるスポレク学級を行いました。子どもたちだけでのスポレク学級は毎月実施していますが、保護者と一緒に実施することで保護者の方に子どもたちの成長を見てもらいながら、一緒に体を動かして運動を楽しむことができました。

親子で体を動かしながら会話を楽しんだりスキンシップを取ったりと、楽しい時間を過ごすことができました。



子どもも保護者も真剣勝負でゲームに挑みました。

一戸学童クラブ冬休みイベント パフェ作りに挑戦!!

1月11日に一戸学童クラブでは、冬休みのイベントとして室内で楽しめるパフェづくりを行いました。新型コロナウイルス感染症が流行し、実施を見送っていたイベントでしたが、5類への移行を機に子ども達が喜んで参加できるクッキング「パフェ作り」を計画することができました。

学童クラブならではの異年齢交流をしながら、子ども達はバニラアイスにバナナなどのトッピングをして個性豊かなパフェに大歓喜の様子でした。今後もコロナ禍で制限されていた活動を、創意工夫しながら子どもたちの体験の機会を増やしていきたいと思えます。



1人1人オリジナルのパフェが完成しました。



1

2

地域資源を活かし地域課題に向き合う 中田地区サロンと 子どもの家保育園交流会

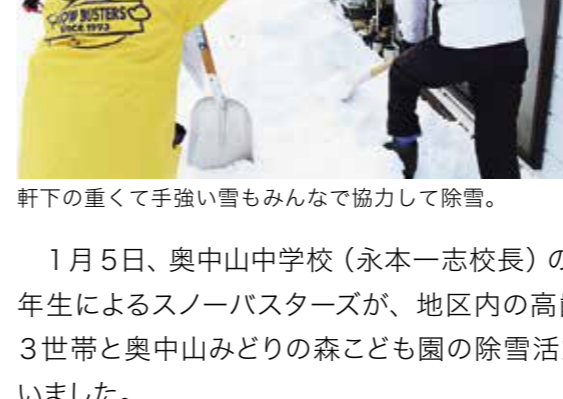
中田地区でふれあいきいきサロン事業を実施しているほさな会(岡ケイ子代表)と子どもの家保育園(古館稲子園長)は、2月27日、ふれあい交流会を行いました。

この交流会は、中田町内会が令和4年度から取り組んでいる住民支え合いマップ作成事業を受け、地域内に保育園があることや子育て中の世帯が多いこと等の地域の良さを活かした地域づくりの実現に向け、地域住民が主体となって企画したものです。

交流会では、ほさな会お手製のお手玉を使った交流や音楽を通じた交流等を楽しみました。

※地図を広げて、その地域の資源・要援護者等の情報を記入し、また関係性を線で引くことで「福祉のまちづくり」への課題と解決策を見出す取り組み。

- 1 歌を歌いながら輪になってリズム遊びを楽しんでいました。
- 2 終了後、子どもたちからほさな会へプレゼントが送られました。



軒下の重くて手強い雪もみんなで協力して除雪。

1月5日、奥中山中学校(永本一志校長)の1・2年生によるスノーバスターズが、地区内の高齢者宅3世帯と奥中山みどりの森こども園の除雪活動を行いました。

今年は暖冬の影響もあり、例年になく重く湿った雪に苦勞する場面も見られましたが、除雪を通じて高齢者の方やこども園の子どもたちと世代を超えた交流の機会となりました。

奥中山中学校をはじめ奥中山地域の皆さまのご協力、ありがとうございました。

さらに健康長寿を祈って 町、町社協100歳長寿祝記念品贈呈

一戸町では今年度15名の方が100歳を迎えられ、一戸町より年金と記念品、本会より記念品が贈呈されました。ご家族や施設関係者の方々のご協力を頂き、お祝いの催し物が開催されました。

対象となった方のこれまでの地域貢献と長寿に敬意の念を表しながら、今後もますますのご健康をお祈り申し上げます。

- 1 12月2日にご家族に囲まれてお祝いをする峠館ミズ様。
- 2 1月10日入所する施設でご家族と共に祝いをする中村チヨ様。
- 3 2月5日、本会大道正樹会長より記念品贈呈をうける山田サタ様。

地域のやさしさ集まる赤い羽根街頭募金 いちのへあったか冬マルシェ2023



街頭募金活動を行う高校生ボランティア。

12月10日、一戸高校敷地内で開催されたいちのへあったか冬マルシェ2023に併せて、赤い羽根共同募金街頭募金活動を実施しました。街頭募金活動には一戸高校(高橋幸美校長)の生徒計5名がボランティアとして協力し、イベント会場を歩きながら来場者へ募金の呼びかけを行いました。

今回の街頭募金活動では、来場者、出展者や協力者から総額11,298円の募金が寄せられました。頂いた募金は、一戸町共同募金委員会を通じて地域福祉活動に役立てられます。ご協力ありがとうございました。

5月1日より日本赤十字社活動資金
増強運動がスタートします

皆様から寄せられた活動資金等は、災害救護支援活動を始め、様々な人道的活動の基盤整備等日本赤十字社の活動資金として大切にに使わせていただきます。

4月末から5月にかけて、各地区行政連絡員または班長が各世帯を訪問しますのでご協力のほどお願いいたします。

運動期間：5月1日～5月31日

活動資金納入の目安：一般会員800円、特別会員2,000円、法人会員10,000円程度（あくまで目安です。）

問い合わせ先：日本赤十字社一戸町区分（一戸町社会福祉協議会内 TEL 0195-33-3385）

令和6年度各種地域福祉活動助成金・
補助金申請受付について

「ふれあい・いきいきサロン助成事業」

一戸町社会福祉協議会では、「ふれあい・いきいきサロン助成事業」の申請受付を行っています。

対象：町内で定期的に福祉活動を行う団体

申請方法：問い合わせ先に電話または来庁後、書類申請
※令和5年度実施団体には書類郵送

助成金額：一回一人当たり100円

※例：会員10名の団体が月1回（年間12回）活動した場合／年間助成額は、10名×12回×100円＝12,000円となります。（上限なし）

問い合わせ先：一戸町社会福祉協議会
（TEL 0195-33-3385）

「地域保健福祉活動支援事業補助金」

一戸町福祉課では、「地域保健福祉活動支援事業補助金」交付申請を受け付けています。

対象：町内で高齢者の介護予防、閉じこもり防止活動を行う団体

申請方法：問い合わせ先に電話または来庁後書類申請

助成金額：補助対象経費の10分の8以内で上限30,000円

問い合わせ先：一戸町福祉課、一戸町地域包括支援センター
（TEL 0195-32-3700）

表紙の
紹介



ふれあいいきいきサロンを子どもの家保育所で実施しているほさな会の交流の様子（5pできごとフラッシュ参照）。子どもたちはほさな会の皆さんから手作りのお手玉や折り紙をプレゼントされ、夢中で楽しんでいました。

令和6年度各種「社協の保険」の
受付を開始します

一戸町社会福祉協議会では、ボランティアやサロン活動、福祉サービスなどの活動に対してのリスクに備えるための各種「社協の保険」の申し込み受付を開始しています。

保険の種類：ボランティア活動保険
ボランティア行事務用保険
ふれあいサロン・社協行事傷害補償
福祉サービス総合補償 他

問い合わせ先：一戸町社会福祉協議会
（TEL 0195-33-3385）

通院時移送支援サービスの
運転ボランティアを募集します

一戸町社会福祉協議会では、介護を要する方の通院時移送支援サービス運転ボランティアを募集します。お申込み・お問い合わせは下記までご連絡ください。

資格：①普通自動車第二種免許所持の方
②自家用有償運送運転者講習を受講された方または受講可能な方
上記①②いずれかに該当する方で70歳未満の方

募集期間：令和6年3月末～随時

問い合わせ先：一戸町社会福祉協議会
（TEL 0195-33-3385）

ゆいっこ voice



「広報ゆいっこ編集係」にお寄せいただいた皆さんの声をご紹介します。（町外の方からもお寄せいただきました!）

今年もめもと長寿祝の写真を見ることが出来て良かったです。私たちがここにのることが出来るのかと話しています。

▶めもと長寿祝は今後も継続的に行う予定です。その際はぜひ取材に伺います！

チャイルドシート無料貸出がお知らせにのってよかったと思います。以前ホームページで調べたがわかりませんでした。

▶ご意見をもとにホームページにチャイルドシート無料貸出のコーナーを作成いたしました。今後もぜひご意見をお寄せください。

一戸オレンジカフェも興味深いです。皆さんの活躍をみて、自分自身も頑張っていきます。

▶オレンジカフェをはじめとした地域の福祉情報を分かりやすくお届けできるように、私たちが頑張ります！

秋田市・いわき市災害ボランティアセンター
応援派遣レポート

被災地社協への職員応援派遣報告



いわき市社会福祉協議会災害VC開所準備の様子。

昨年7月の秋田県大雨災害と9月のいわき市台風13号豪雨災害を受け、秋田市といわき市の両市社会福祉協議会が運営する災害ボランティアセンター（以下、災害VC）へ、北海道・東北ブロック社協の一員として各4日間参加してまいりました。災害VCとは、被災者の困りごと相談やボランティアをすすめる人たちに調整・企画機能をもつ相談窓口であり、その多くは被災地の社協が中心になり福祉団体やNPO、専門職組織等と協働で運営を行います。そのためボランティア総合調整機関として災害時に活動を行うことも、社協の役割の一つとして挙げられます。運営には、被災地近隣の社協



発災から2か月経った秋田市内。水路が氾濫し、写真右手前より2件が床上50～70cm浸水、3件目は床下。4件目以降被害なし。

や都道府県社協が主として携わります。しかし先日（9月）の能登半島地震のような災害級の規模のものは全国の各社協が被災地社協の応援を行います。秋田市の大雨災害は、令和4年に一戸町が経験した河川の氾濫等により住家等に水が流れ込んだ「外水」被害と異なり、河川から離れた市街地の排水処理が間に合わず、水に浸かる「内水」被害が目立ちました。被災地区の全世帯へ入りこもって確認（ニーズ調査）のために個別訪問を行いました。中でも床上50cmの浸水を受けた住民から「発災から2カ月経ってもまだ自宅に戻れていない。隣の息子が通いながら片付けている。開発で対岸の高が上がり、

行き場のない水が自宅に入ってきた。」と発災時の様子を詳細にお伝えくださったことは特に印象的な出来事です。また、局所的な台風被害があったいわき市では、活動先へのボランティア送迎をはじめ、活動や個別訪問で得た情報処理等の事務作業を行いました。毎年のように日本各地で起きている自然災害ですが、それぞれの被災地の特性や発災時期、規模により、災害VCも状況に合わせて柔軟な動きが求められます。また、報道のみで得た情報により早期に個人判断で支援に入ることが、より一層被災者や地域の負担となり兼ねないことを改めて留意しておかなければなりません。ボランティアする側の助けたいという一方的な思いだけではなく、担い手と受け手のマッチング、さらにボランティア活動の安全性などを判断することも社協の重要な役割です。今回の経験が今後いつ来るかわからない災害への備えとなり、また被災地及び被災者支援に役立てられるように、日々研鑽に励んでいきたいと思えます。（文責：事務局長 関上祐児）

令和6年 能登半島地震災害義援金募集

日本赤十字社一戸町区分と一戸町共同募金委員会では、令和6年元日に発生した能登半島沖地震災害に伴い、町内下記施設にて災害義援金の募集を行っております。引き続き皆さまのご協力をお願いいたします。

募集期間：令和6年2月5日～12月27日まで

受付場所：一戸町役場、総合保健福祉センター、各地区センター、来田保養センター、いちボラ+（旧一戸幼稚園内）

令和6年2月末時点の募金納入実績 総額 288,122円



校内で集めた義援金を日本赤十字社一戸町区分へ送る一戸中学校の皆さん。

各種相談日程表

| | 無料法律相談 | 多重債務相談 | あすいろ(自立相談支援機関) | ふれあい相談 |
|-----|--|-------------|---------------------------------|--|
| 開催日 | 4月9日(火) 4月23日(火) | 4月16日(火) | 月曜日～金曜日 (土日祝祭日・ 年末年始休み) | 月曜日～金曜日 (土日祝祭日・ 年末年始休み) |
| | 5月14日(火) 5月28日(火) | 5月21日(火) | | |
| | 6月11日(火) 6月25日(火) | 6月18日(火) | | |
| 時間 | 10:00～15:00 | 10:00～15:00 | 8:30～17:00 | 8:30～17:15 |
| 場所 | 二戸消費生活センター (二戸合同庁舎内) TEL 0195-23-5800 ※要予約 | | OneDishあすいろ TEL 0195-43-3525 | 一戸町社会福祉協議会 (一戸町総合保健福祉センター内) TEL 0195-33-3385 |

寄付御礼

一戸町社会福祉基金への寄付
(令和5年11月～令和6年3月取扱分)

- ◆一戸町文化協会様 金 30,000円 也
- ◆匿名様 金 50,000円 也
- ◆一戸町地域婦人団体様 金 30,000円 也

一戸町社会福祉協議会への寄付
(令和5年11月～令和6年3月取扱分)

- ◆匿名様 金 50,000円 也

頂きましたご寄付は、
地域福祉事業の推進のため
使用させていただきます。
ありがとうございました。



災害義援金募集のお知らせ

社会福祉協議会では、被災された方々を支援するための義援金を次の通り受付しております。頂いた義援金は岩手県共同募金や日本赤十字社岩手県支部を通じて全額被災地の方々に届けられます。皆さまのご協力をお願いいたします。

令和5年7月大雨災害義援金

福岡県・佐賀県・石川県支部：令和6年3月29日(金)まで

令和6年能登半島地震災害義援金

本社・石川県・富山県支部：令和6年12月27日(金)まで
福井県支部：令和6年3月29日(金)まで
新潟県支部：令和6年6月28日(金)まで

その他、各種国内外義援金についても受付しております。
一戸町社会福祉協議会 (TEL 0195-33-3385) までお問い合わせください。

読者プレゼント

本誌への感想や当協議会への意見など、アンケートに答えていただいた方の中から抽選で3名の方に一戸町の特産品(1,000円相当)をプレゼントします。

応募を希望される方は、①住所②氏名③年齢④電話番号⑤本誌への感想や当協議会に対する意見などを明記の上、はがきまたはメールにて編集係までお送りください。発表は、発送をもって替えさせていただきます。

応募方法

▶はがき

〒028-5312 一戸町一戸字砂森93-2
一戸町社会福祉協議会「広報ゆいっこ編集係」

▶メール

ichinohe-shakyo@themis.ocn.ne.jp



お問い合わせ
フォーム

編集後記

今年は例年にない暖冬となり、穏やかながらも雪景色にもの恋しさを覚える日々を過ごしています。さて、今年度を振り返ると昨年度よりも多くの方に会ったり、お世話になったりする機会が増えたように思いました。この時期に手帳を買って替える度に、カレンダーが埋め尽くされた週や、未完成のやりたいことリストなどを見て、来年はどんな1年が待っているのかとワクワクしています。1年間ゆいっこをご覧いただきありがとうございました！新しく始まる新年度が皆さんにとって素敵な1年になることを願っています。
(高橋)

社会福祉法人 一戸町社会福祉協議会

〒028-5312 一戸町一戸字砂森93-2
(一戸町総合保健福祉センター内)
TEL 0195-33-3385
FAX 0195-33-2737
ホームページ
<https://ichinohe-shakyo.jp/>

